

月刊

ポケット

あわじ

発行日 2006年11月1日



あわじの暮らし
をのぞいて
みる

言葉で遊ぼう!
語学研修

水餃子作り

辰美小児童と

県民交流広場

伊加利国際交流会

元伊加利小学校の3階部分を「平成17年度 県民交流広場モデル事業」を活用して、食堂やシャワールーム・宿泊設備の整った施設へと改修しました。そして、大阪YMCAの留学生を招いて「言葉で遊ぼう」と題した語学研修を1泊2日で実施しています。1日目は、土曜日の午後7時30分より大人の部、2日目は、午前9時30分から辰美小学校児童の部に分けて行っています。第1回目は、7月8日～9日に、韓国・ネパール・中国の3ヶ国5名の方々が来られました。初日、大人の部ではネパール語、韓国語の2教室に分けられました。「ネパールの教室」では、自己紹介やネパールでの買い物の仕方などを教わり、「韓国の教室」では、今、テレビで放映されている「チャングムの誓い」の歌の意味を聞き、そのあとで皆で合唱し

ました。両教室とも終始和やかな雰囲気で行われていました。2日目の子どもたちの授業では、中国の「水餃子」を辰美小の児童といっしょに作りました。最初は不安顔だった子どもたちも餃子の皮作りから始まり、具を包むときには得意な顔に。粉でテーブルを真っ白にしながらも悪戦苦闘、しかし、見事お昼前には餃子が出来上がって、参加した人たち全員で試食しました。満足そうな顔で「家に帰って、お母さんと一緒につくろう」と意気込んでいる子もいました。少しずつではあるけれど、YMCA留学生が辰美小学校児童や伊加利地区の住民とも交流が深まっていくのを感じています。8月26日～27日に第2回目の交流も無事終了し、今は、第3回目を計画中です。投稿:伊加利国際交流会 西久保文代

応援隊 島の県民交流広場を訪ね

- わくわく 島の多彩なコミュニティから発信・・・1
- 今年度認定された県民交流広場紹介・・・2～3
- ちょっと寄り道 足湯・うずのゆ(南あわじ市)・・・4
- もう一度たべたい 母のおやつ・・・4

目次

生活創造活動グループ紹介

- にほんご さーくる淡路・・・5
- 応援隊トピックス・・・5
- 文化会館・生活科学センターのお知らせ・・・6
- 淡路の文化活動・イベント情報・・・7～8

倭文（しとお）ふれあい広場…南あわじ市
連絡先：0799-46-0301（北谷） 北谷雅良さん



倭文ふれあい広場は、H15年に出来た、南あわじ市緑防災センター（写真）を、「もっと地域の人たちに集ってもらいたい」という願いから、よりコミュニティが取りやすいように入り口付近の改修と、地域への情報発信基地としての施設内の無線LAN工事、調理室の備品補充を行いました。具体的には、現在夜間、日、祭日は閉まっていますが、使用する際に市の許可が必要なセンターの入り口とロビーの一部分を地域活動のために、いつでも使えるようにパーテーション（仕切り）を設け、夏祭りや、食の安全セミナーなどの催しを行い、より大勢の地域住民が集まれる広場を目指している、と活動メンバーの皆さんは生き生きと話してくれました。取材：浜田泰美

応援隊だより 島の多彩なコミュニティへ発信

みらいっくウメバチ（鮎原活性化委員会）…洲本市
連絡先：0799-30-2039（富澤）



新興住宅群2地区をかかえる鮎原地区は1,286世帯の大所帯。問題は、従来からの住民との交流がまだまだ薄いこと。子どもからお年寄りまでの幅広い世代間交流も薄い。その交流の場として、現在は和室ばかりの「あいはら荘」（写真の一階を洋室に改修し、バリアフリー化して、地域住民の縦と横のつながりを強化したい。台所も改修の予定に入っている。喫茶コーナーを設け、だれでも、いつでも、お茶を飲みながら楽しく過ごせる場にしたい。「年内に整備を終わらせる予定なので鮎原のみなさん、ぜひ寄ってきてください。」取材：西岡真理子

地域づくりのアイデアマンたち —県民交流広場の立役者—



高田良信さん・地主 勢さん・打越 齊さん・野沢弘志さん

塩田交流広場…淡路市

連絡先：0799-62-1170（地主）

塩田地域の住民が気軽に集うスペースとして、塩田会館2階図書室をパソコン講座の開ける講義室へと改修します。そのパソコン教室では、地域の伝統行事である『大名行列』を 地元子ども達にもっともっと知ってもらうために、PRのビラ作りやホームページの製作を考えています。また、地区文化祭でも大名行列の貴重な衣裳や道具の展示をしたり、写真やビデオなどで紹介していく計画も！！

より多くの子ども達や地域の人たちに「この町の歴史や伝統を知ってもらいたい」という委員の方たちの強い熱意を感じました。取材：福谷寿美



貫名幸男さん、佐藤芳民さん、柳圭吉さん、渡辺昌彦さん、江本節子さん

多賀地域交流広場…淡路市

連絡先：0799-85-0102（佐藤）・0799-85-2233（巖谷）

いざなぎ神宮の前にある多賀ふるさとセンターが多賀交流広場です。整備で一番力を入れているのが、多目的ホールの舞台の改修と収納庫！舞台を広くする、そで幕、照明、音響をよくして、グランドピアノを設置。増築した収納庫へは、これまで会場に置いていた椅子300脚、太鼓などが片付けられます。活動では、主に子ども達との世代間交流、地域の人々のピアノ発表会などを開催します。広く一宮地域の人たちに多賀まで足を運んでもらいたい。完成が楽しみです。11月3日～6日、ここで開催される一宮文化祭には一部の改修も済んでいます。多賀交流広場では、地域の皆さんと一緒に活動をしてくださる方を募集中です。連絡先：0799-85-0102 取材：松田節子&岩井幸子

中川原交流広場…洲本市

連絡先：0799-28-1024（中川原公民館 近藤）



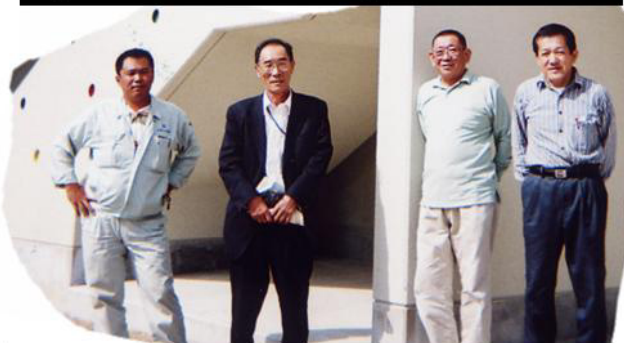
近藤芳民さん、島田 知さん、山口憲昭さん

少子化、そして子どもを狙った犯罪の増加により、最近では小学校にも親が車で送迎している現状。世代間のギャップを埋めるために挨拶運動をしようにも、肝心の子どもの姿が見られない。こんなことから、地域住民の交流の場の必要性が高くなってきた。「顔の見える関係を大事にしたい」「幸いにも中川原は、千山山系からのおいしい水を利用できるので、食育を通して子どもの来やすい環境をつくりたい。独居老人や一人暮らしの男性にも料理を学んでもらいたい。地元の産物を使って調味料を工夫したくぎ煮などを考えていきたい。公民館祭りを定着させて世代間交流を深めることで子どもたちを見守っていこう。」3人の熱い想いは際限なく広がっていく。

取材：西岡真理子

広石交流広場…洲本市

連絡先：0799-35-0763（坂東）



藤井英司さん、坂東幸志さん、坂東正治さん、谷口喜代宏さん

新しくなった小学校の校舎の横にある古い建物を改修して、子どもも大人も自由に出入りできる場を。老人憩いの家がなくなったので、みんなが集まる場所がなかった。今回、広場の改修で一部をフローリングにし、トイレも増やしてその一箇所をバリアフリーに。新しく出来た団地の人たちとも交流を図りたい。今後は年に2回くらいの季刊誌の発行や、各種教室の増設を考えていますが、指導者不足が問題です。3年目になる料理教室では、おせち料理も作った。今年も11月24日に「3世代料理教室①」を開く。「改修後はここを起点に住民が気軽に集まれるように、長いスパンの計画を練っていく」と坂東さん。

取材：西岡真理子

都志（つし）交流広場…洲本市

連絡先：0799-33-0517（山口）



山本さん、北畑さん、出口さん、山口さん、芝峠さん

「若い人の人口減少や少子化で、春祭りに人が寄ってこない。なんとかせねば！！」昭和51年に住民の寄付などで建てた「高田屋荘」も老朽化し、予算不足で補修も中途半端。今回の広場の整備費で改修し、郷土が生んだ高田屋嘉兵衛翁の愛した「菜の花」をテーマに工夫を凝らして活性化を図る。それをPRするために街道筋に、春は菜の花、秋はコスモスがいっぱいになるように子どもたちと種まきをしたり、菜種油で揚げた天ぷらで、嘉兵衛の妻「おふさ」にちなんだ「おふさ丼」や浜の海水と鮎原米を使った「おふさおにぎり」をつくる。広場には、手づくりの床几（しょうぎ）を2つ置き、高田屋嘉兵衛の紋入りのもろふたに「おふさおにぎり」を並べる等。だれもが好きなきときに井戸端会議が出来るような場所をつくり、賑わいのある町にしたい。取材：西岡真理子

佐野交流広場…淡路市 連絡先：0799-65-0249（西川）



菅さん、盛岡さん、増田さん、和田さん、藤岡さん、西川さん、塩崎さん

海と山に囲まれて、イカナゴ、チリメン漁を中心とした漁業、温室のスイトピー、カーネーションなどの花卉（かき）栽培などが主産業ですが、高齢化が進んでいます。

そこで、町に活気と賑わいを取り戻すべく、佐野会館に研修交流スペースをつくり、人の心のあり方を見つめ直し、豊かな生き方を探るための講座「まほろば塾」を開講したり、地域のじいちゃん、ばあちゃんが孫とメール交換が出来るように、パソコン講習会を開催。また、健康づくりのために仲間と遠慮なく声を出して歌えるようにカラオケ装置の設置も考えています。調理室の改装では、郷土料理の創作グループが頑張っています。来年2月には地区の農水産物の展示や即売、フリーマーケットなどの産業祭があると聞き、思わず手帳にメモしました。改装の進んだ佐野広場と取材で知り合った方たちに、会いに出かけるつもりです。取材：橋本史江



ちょっと寄り道 足湯 うずのゆ



時間：10:00～17:00
料金：無料
問合：0799-52-2336
休日：無休

南あわじ市の“うずしおドームなないろ館”のすぐそばにある“足湯・うずのゆ”にちょっと寄り道しました。

これまでも、子どもたちの塾の迎いのちょっとした待ち時間などに立ち寄っていました。ここは、大きく渦を巻く“うずしお足湯”がおもしろく、ついつい足を入れたくなります。他にも、“たこ壺足湯”や“手浴”などがあり、いろいろな足湯が楽しめます。お湯は潮崎温泉なので、すこしぬるっとしていて、お肌がつつるになります。目の前には福良湾が広がり、渦潮観潮船の日本丸や咸臨丸を見ながら、観光客とおしゃべりをしたりしてのんびりとした時間を過ごすことができます。取材に訪れた日は土曜日だったので、たくさん

の観光客の方が足湯を楽しんでいました。子どものお友だちと偶然一緒になったので、手湯に浸かってパチャパチャと水(湯)遊び、…ごめんなさいm(_)mでも、とても楽しそうでした。

帰り道、妹：「手と足がツルツルや～」

姉：「顔も洗いたいわ～」

母：「アハハ…ほんまや～」

身体はホコホコ、お肌はツルツル。肌寒くなるこれからの寄り道に、ぴったりですネ。

取材：竹谷香代

もう一度食べたい 母のおやつ

あなたの「母のおやつ」
を教えてください。覚えていっ
しゃれば作り方も添えて。
ポケットあわじに
掲載します。



応援隊：水田未央子

いまほど食糧が豊かでなく、甘いお菓子が珍しかったあのころ。各家庭には、おばあちゃんや母さんが工夫して作ってくれたおやつがありました。そんな「母のおやつ」にまつわる思い出話です。



食べても食べても「お腹空いたー！何かない？」と母に尋ねる毎日だった中学時代(昭和58年頃)。朝ごはんを食べても2時間目が終わったら、もうすでにお腹がすいていて…(笑)。そんな時期、母があみ出したボリューム満点のおやつ。名付けて「たまごパン」は私の青春の味です。所属していたバレー部員みんな食べてました！(チームはとても弱小だったけど)

作り方は簡単。準備するのは卵焼き用のフライパン。卵、とろけるチーズ、ハム、食パン。卵をといて塩こしょうで味付けし、とろけるチーズも混ぜてフライパンに流し込む。その上にハムをのせ、さらにマヨネーズをのせる。しばらく弱火で焼いたら、食パンをかぶせて両面を程よく焼く(パンからはみ出した卵部分を巻き付けていくと、自然に卵とパンがひっつきます)。熱々をサクッと噛んだら、中からトロッとチーズと卵とマヨネーズが出てきてとっても「し・あ・わ・せ」な味でした。

生活創造活動グループ

にほんごさーくる淡路



代表者：藤井 晶子

連絡先：洲本市社会福祉協議会

洲本市山手2-2-26

(洲本市総合福祉会館内)

TEL 0799-26-0022

Fax 0799-26-0021

E-mail shakyo@sumoto.gr.jp

これは洲本市総合福祉会館で、中国人に、日本語を教えているところです。

「にほんごさーくる淡路」は、国際性豊かな社会の実現をめざして、地域に定住する外国人の日常的な日本語会話能力の向上と良好な地域コミュニティの形成を促進するための日本語教育支援ボランティアグループです。現在活動は、島内在住の外国人を対象に週1回、1～2時間のマンツーマンの指導で、「み

んなの日本語初級」を基礎とした講義をしています。その他漢字など学習者の要望にあわせ、いろいろな形での支援を心がけています。中国、インド、フィリピン、アメリカ、タイ、ベトナムの学習者の人たちと一緒に花見やバザー、クリスマスパーティーなども行い、とても楽しく活動しています。



10月6日(金)「ポケットあわじ」の編集員、生活創造応援隊は、渦潮観潮船「威臨丸」に乗って壮大な鳴門の渦潮を見てきました。南あわじ生まれ南あわじ育ちの私ですが、観潮船に乗るのははじめてでした。

さあ、往復約1時間の船旅に出発です。鳴門海峡大橋から見下ろした渦潮しか知らない私は、観光客気分ワクワクでした。おまけにこの時期は1年でも大きい渦が見えるとき、そして潮の干満の時間もばっちりだったのです。心地よい潮風を受けながら船旅を楽しむこと数分。小さな渦やら大きな渦がたくさん見えてきました。大きい渦は直径3メートル以上あったかと思います。すごい音をたててグルグル回っていました。あり地獄のようにグリグリとなにかを飲み込んでいくようなすごい迫力でした。

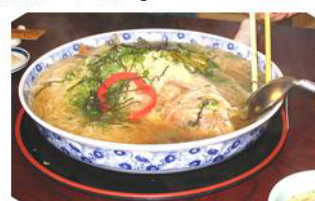
海の色のも美しさにも驚きました。自然の生み出すこんなすごい景色が身近にあったんだと再認識しま

した。大橋の下を小さな観潮船が渦の中をアップダウンしながら進んでいく光景にも驚きました。まさに灯台下暗し、淡路に住んでいて、こんなすごい観光スポットに気づかなかったなんて・・・！

威臨丸から降りた一同は、本日のメイン(笑)鯛ソーメンと釜飯を食べに近くの前予約をしてあったお店へ。これがまた絶妙。だしが張られた大きな美しい器の真ん中に素あげされた鳴門鯛がどんと一匹。ソーメンは福良で作られている手延べの極細麺。あっさりとした中に鯛のうまみとだしの深い味わいがあり、何回もおかわりしたくなりました。釜飯もちょうどいいお味。本当にしあわせなひとときでした。

さあ、この感激を「ポケットあわじ」の読者にも伝えなければ・・・。

応援隊：川原雅代



淡路文化会館からのお知らせ

平成18年度 淡路地域交流祭

淡路伝統芸能祭

島内各地に受け継がれている

「淡路人形浄瑠璃」等

のステージイベント

と き：11月19日（日）

13:00～17:00

ところ：しづかホール

（問い合わせ先）

淡路文化会館 地域交流祭(伝統芸能祭 担当)

TEL：0799-85-1391

淡路がもっと好きになる!



演目(出演団体)

- 傾城阿波鳴門 巡礼歌の段(福井子供会人形浄瑠璃部)
- 野島八幡神社の奉納木遣り(野島八幡神社拝原若中)
- 振り踊り節(振り踊り保存会)
- 盆踊り音頭「常六さん」(東浦盆踊り保存会)
- 壺坂霊験記(東本町子供会)
- 盆踊り「津名町小唄」(津名町小唄保存会)
- おまあや(おまあや復興会)
- 鬼一法眼三略 五條橋の段(淡路人形浄瑠璃青年研究会)
- 市村小唄(市村小唄保存会)
- 中島おどり(中島おどり保存会)
- 社日太鼓・勇み駒(郡家伝統芸能保存会)
- 傘踊り(阿那賀郷土芸能保存会)
- 飛竜三段返し・国生み太鼓(国生み太鼓保存会)
- つかいだんじり(都志万歳町内会)



淡路生活科学センターからのお知らせ

約100店の
フリーマーケットコーナー

手作りおにぎりコーナー・
ナタ油の天ぷら試食コーナー

菜の花エコプロジェクト・
ケリンエネルギーコーナー・
菜の花鉢植え講習会

フロパングスコーナー・
吹き戻し体験教室



**リサイクルセール・イン淡路2006
& 菜の花フェスティバル(環境立島まつり)**
平成18年11月23日(木・祝日) 午前10時～午後1時まで
県立淡路文化会館・淡路香りの公園にて開催

【トピックス】 パロマ工業製の瞬間湯沸器をご使用の方はすぐご確認を!

パロマ工業製の半密閉式瞬間湯沸器をご使用されている場合、製品番号を確認し、該当する場合は、点検を行う必要がありますので、相談窓口にご連絡をしてください。(一酸化炭素中毒の危険性あり!)

○パロマ工業(株)お客様相談室
電話：0120-314-552
午前8時～午後10時(平日・土曜)
午前9時～午後6時(日曜・祝日)

製品番号	PH-81F	PH-131F
	PH-82F	PH-132F
	PH-101F	PH-161F
	PH-102F	

【時】開催時期 【所】場所 【料】料金 【内】内容 【定】定員 【問】問い合わせ先

ーしづかホールー

兵庫県中学校総合文化祭 音楽部門発表会

【時】11月9日(木)10:00開演

【料】無料

【内】全淡中学校18校の合同音楽(吹奏楽・合唱等)・郷土芸能発表会

【問】全淡中学校音楽教育部会(代表 落合)

TEL0799-74-4113

淡路市子育て学習センター合同行事『人形劇鑑賞』

【時】11月15日(水)11:00開演

【料】無料

【問】津名子育て学習センター(田居) TEL0799-62-5060

第2回人権を考える集い

【時】12月7日(水)18:30開演

【料】無料

【内】地域の活動実践報告会、長谷川清コンサート

【問】淡路市教育委員会人権推進課 TEL0799-64-2521

ー淡路島公園・淡路ハイウェイオアシス オアシス館ー
淡路島公園を楽しもう会『花と緑の教室』

【時】11月25日(土)①10:00~12:00②13:30~15:30

【料】1作品2,000円(材料費として)

【内】テーマ「クリスマス」、楽しく華やかなクリスマスのアレンジメントを一緒に作りましょう。
講師は大歳君江氏。※要電話予約

【問】淡路島公園管理事務所 TEL0799-72-5366

ー淡路香りの公園ー

クリスマスリース作り講習会

【時】12月3日(日)13:00~

【所】淡路文化会館 会議室

【料】材料費2,000円

※先着40名(11/24締切)

申込み先 淡路香りの公園事務所

(TEL0799-85-2330 Fax0799-85-2220)

【内】公園の芳香樹木を使って作る香りの良い手作りリース

【問】県立淡路香りの公園 TEL0799-85-2330

ー南あわじ市三原公民館ー

淡路人形座 秋の特別公演「忠臣蔵」

【時】11月25日(土)18:30開演

【料】前売1,500円 中高生1,200円 小学生1,000円

当日1,800円 中高生1,500円 小学生1,200円

【内】人間国宝鶴澤友路師匠特別出演!

【問】淡路人形浄瑠璃館 TEL0799-52-0260

(財)淡路人形協会事務局 TEL0799-37-3020

ー洲本市立淡路文化史料館ー

阿波への道展記念講座「歩いて学ぼう洲本の歴史」

【時】11月11日(土)13:30集合

【料】無料 ※申込み制定員50名

【内】洲本市内に今も残っている江戸時代ゆかりの場所を歩く。解説は淡路文化史料館職員。

阿波への道展記念講座

「地域の身近な文化財を見直してみよう」

【時】11月26日(日)14:00~

【料】無料

【内】淡路島に残っている各街道の跡地や石造文化財などを写真で紹介。

【問】洲本市立淡路文化史料館 TEL0799-24-3331

ー国営明石海峡公園ー

入園料:大人400円 小人(小中学生)80円

駐車料金:普通車500円 大型バス1,600円

『海峡フレンズ企画』

I「淡路の草木染め~ベニカナメモチ」

【時】11月26日(日) イベント開催13:30~16:00

【料】500円~(材料費込み:染色素材により異なる。素材持ち込みの場合は300円)

【内】ストールやコースターなどの布素材を自由に絞りを付けながら染め上げる。

II「クリスマスリースづくり」

【時】12月3日(日) イベント開催13:30~16:00

【料】500円

【内】木の実やつるなどを用いたリースづくり。

III「トールペイント教室~クリスマスグッズ」

【時】12月4日(月) イベント開催10:30~15:30

【料】500円~(材料費込み:ペイント材料により異なる。材料持ち込みの場合は300円~)

【内】木製グッズにアクリル絵の具でペイント。

【問】明石海峡公園管理センター TEL0799-72-2000

ー淡路景観園芸学校ー

まちづくりガーデナーテーマコース(「里山」について考える!)

【時】12月20日~22日(水~金) H19年1月31日~2月2日(水~金) 9:15~16:15

【所】神戸市立飛松中学校(神戸市須磨区)

【料】受講料10,300円 傷害保険料800円

実習材料費1,000円程度

※募集人員20名(定員超過の場合は抽選)

【内】里山についての基礎知識、里山での安全な作業、里山にある材料を使つての実習など。

(対象)主に兵庫県内に在住、在勤、在学の方

【問】淡路景観園芸学校普及指導課 TEL0799-82-3455

ー淡路県民局ー

~親子で自然体験~いざなぎの丘で遊ぼう!

【時】11月26日(日)10:00~15:00(雨天延期12/3)

【料】200円(行事用保険等) ※先着150名

【所】淡路文化会館駐車場 9:30集合

【内】竹細工・ゲーム体験。豚汁・焼き芋作り。

※対象:小中学生を中心にどなたでも、ただし小学3年生以下は保護者同伴のこと。所定の用紙で下記までFAXまたは郵送。※11/13締切

【問】淡路地域ビジョン委員会ふれあい手づくり公園実行委員会事務局 TEL0799-26-2014・2015

ーサンシャインホールー

淡路子育て応援フォーラム「地域のきずなでいきいき子育て明るい未来」~広げようみんなで子育てネットワーク~

【時】11月28日(火)13:30開演

【料】無料

【内】子供は社会の宝物。講演や活動発表を通して、地域ぐるみの子育てについて一緒に考えよう!

【問】淡路県民局県民運動課 TEL0799-26-2047

ー洲本市三熊山ー

第39回青少年のつどい歩こう大会

【時】11月23日(祝木)10:00~

【料】無料

【内】今年で39回目を迎える伝統ある行事。各地区子ども会単位ごとの参加。

【問】淡路ブロック子ども会連絡協議会事務局

TEL0799-26-2048

一 洲本市文化体育館
日本酒再発見の夕べ（会議室1A）
【時】11月12日（日）18:30～
【料】2,000円（事前申込み必要）
【問】日本酒再発見の夕べの会 [Tel.0799-84-0078](tel:0799-84-0078)
兵庫県動物愛護フェア（文化ホール）
【時】11月25日（土）14:00開演
【料】無料（申込み必要）
【問】洲本健康福祉事務所 [Tel.0799-26-2068](tel:0799-26-2068)
レディーススポーツフェスすもビック06
（メインアリーナ）
【時】11月26日（日）13:00～16:00
【料】無料
【問】洲本商工会議所女性会 [Tel.0799-22-2571](tel:0799-22-2571)
第35回くれない杯バレーボール大会
（メインアリーナ・コミュニティアリーナ）
【時】12月3日（日）、10日（日）9:00～17:00
【料】無料（参加資格：一般・高校生）
【問】吉岡弘剛 [Tel.0799-23-0706](tel:0799-23-0706)
柳幼稚園発表会（文化ホール）
【時】12月9日（土）9:45開演
【料】無料（一部指定席）
【問】柳幼稚園 [Tel.0799-22-3208](tel:0799-22-3208)
平成18年度防災講演会（文化ホール）
【時】12月13日（水）14:00開演
【料】無料
【問】淡路消防保安協会 [Tel.0799-24-2410](tel:0799-24-2410)

第43回洲本市民楽道大会（道場・コミュニティアリーナ）
【時】12月23日（土）10:00～16:00
【料】観覧無料
参加資格：洲本市内に住み、学校または道場において柔道の修行中の者
【問】小寺義章 [Tel.0799-23-0677](tel:0799-23-0677)
柳学園中学・高等学校ジャズバンド部クリスマスイヴ
イヴファンファンコンサート（文化ホール）
【時】12月23日（土）15:00開演
【料】無料
【問】柳学園中学・高等学校ジャズバンド部
[Tel.0799-22-2552](tel:0799-22-2552)

一 淡路ファームパーク イングランドの丘
等身大紙相撲大会（イングランドエリア）
【時】11月23日（祝木）13:00～
フリーマーケット（グリーンヒルエリア）
【時】11月26日（日）終日
Romantic Christmas 2006
（イングランドエリア）
【時】12月23日・24日（土）15:00以降入園無料
【内】イギリスの童話をモチーフに花火・ダンス・映像を使って演出（花火約500発）。大温室（植物館）にもイルミネーション点灯。
【問】淡路ファームパーク イングランドの丘
[Tel.0799-43-2626](tel:0799-43-2626)

平成18年度 走る県民教室（第4期分）参加者募集！

県の施設などを見学し、県政についての理解を深めていただくため、「走る県民教室」を実施しています。
バス借り上げ費用の補助をご希望の方は、下記のとおりお申し込み下さい。
◇対象：淡路島内の自治会、高齢者、女性、青少年等の地域団体（20人以上）
※ただし、1団体につき、各年度1回限りとします。
◇見学実施日：平成19年1月1日（月）～3月31日（土）
◇募集期間：平成18年11月20日（月）～12月1日（金）
◇申し込み・問い合わせ：淡路県民局企画調整担当 [Tel.\(0799\)-26-2009](tel:0799-26-2009) [Fax.\(0799\)-25-2033](tel:0799-25-2033)

【11月～12月ギャラリーインフォメーション】

兵庫県立淡路文化会館 展示室・県民ギャラリー 無料	
○第28回淡路文学作品展	11月 7日（火）～11月20日（月）
○美サロン展	11月 7日（火）～11月20日（月）
○第18回いざなぎの丘写生大会作品展	11月22日（水）～12月 6日（水）
○第17回淡路市中学校合同美術部展	12月16日（土）～1月 4日（木）
洲本市立淡路文化史料館 【料】大人400円 高大生250円 小・中学100円	
○運搬事業「みる きく あるく 歴史の道」阿波への道展	10月21日（土）～12月17日（日）
洲市民交流センターアールギャラリー 無料	
○淡路島の小さな巨匠たち展	11月15日（水）～11月28日（火）
○県中総合文化祭淡路地区大会書写・美術発表	12月 5日（火）～12月19日（火）
洲市民会館展示室 無料	
○第34回日本盆栽協会淡路島支部盆栽作風展	11月21日（火）～11月23日（木）
洲本市文化体育館（会議室1A・2C） 無料	
○洲本市小中学校造形展	11月20日（月）～11月23日（木）
○未生流中山文甫会淡路支部創立35周年記念花展「花めぐり」	11月25日（土）～11月26日（日）
○淡路書道連盟書道展示会	11月30日（木）～12月 3日（日）
洲市民工房 無料	
○組・編・織・縫	11月20日（月）～11月23日（木）
南あわじ市淡路人形浄瑠璃資料館 無料	
○淡路人形版画カレンダー展	11月 8日（水）～12月 4日（日）
○淡路人形写真展	11月22日（水）～12月18日（日）
南あわじ市滝川記念美術館 玉青館 大人300円、高大生200円、小・中学生100円	
○玉青館コレクションⅠ～玉青館ゆかりの作家たち～	10月20日（金）～1月28日（日）
サンシャインホール 無料	
○淡路花祭2006春フォトコンテスト入賞作品展	11月 7日（火）～11月29日（水）
○あわじしまのちいさな巨匠たち	12月 2日（火）～12月26日（火）

編集だより

応援隊のメンバーになって半年が過ぎました。取材とか原稿を書くなんて殆んど縁がなかったから不安でした。でも、勇気を出してチャレンジしてよかった。応援隊には、ベテランから幼少の子どもがいる人まで、いろんな年齢層や価値観の違う人どうしが一同に集まって、テーマに沿ってワイワイと話し合います。そして、自分のアンテナを張れる分野で取材をして原稿を仕上げます。後は、編集長ヨロシク！そんな過程を経て出来上がった「ポケットあわじ」に愛着を感じてうっとり！！ 応援隊 岩井幸子

ポケットあわじでは、皆さまからのお便り、まちの情報をお待ちしております。お気軽にどうぞ！

（発行）淡路生活創造応援隊
淡路県民局 淡路文化会館・淡路生活科学センター
〒656-1521 淡路市多賀600
TEL 0799-85-1391
FAX 0799-85-0400
E-mail: bunka-85awaji@maia.eonet.ne.jp

「ポケットあわじは」どこで手に入るの？・・・淡路島内各市の庁舎・公民館、ホール、商業施設などで無料配布しております。また、淡路文化会館のホームページ・下記URLでもご覧になれます。

<http://www.hyogo-intercampus.ne.jp/gallery/pocket/>